

新入生の英語に関するアンケート及びテストについて

宮沢幸・西村徳行

On the English Tests and Questionnaires to the First-Year Students of Miyakonojo National College of Technology

Sachi MIYAZAWA and Noriyuki NISHIMURA

(Received October 1, 2008)

Abstract Every April our first-year students take two kinds of English tests, the assignment test and the ability test. The assignment test is made by the publisher on the assignment book given to the new students when they come to our College before entrance. Although the ability test had been made by ourselves based mainly on STEP Test, we adopted BACE as an ability test three years ago. The aim of this paper is to analyze the results of the newly enrolled students' English tests and the entrance exams. We also report the results of brief questionnaires about English learning environment of the first-year students.

Keywords [Assignment test, Ability test, BACE, Questionnaires]

1 はじめに

本校では、毎年4月の早い時期（近年は入学式の翌日）に新入生に対して数学と英語のテストを課している。英語については、この20年ほどは課題テストと実力テストの2種類のテストを実施してきている。課題テストは、3月の合格者出校日に市販の高校新入生用教材を購入させ、新学期までに自習しておくよう指示を出して、教材に付随したテストを使って実施している。また、実力テストは主に英語検定3級の問題を元に英語科で作成して実施してきたが、3年前より桐原書店等が主催するBACEを採用して実施してきた。本稿では、主にこのBACEの紹介と本校での実施結果の分析を中心にして、課題テストとの関連や入学試験との関連についても探りたい。

この3年間、1年生の「オーラル英語」では、CD付のWorkbookを全員に購入させて、寮や自宅で英語のリスニング学習ができるようにしてきたが、これに伴い英語を聴く環境（音響機器）が整っているかを探るアンケート調査を行ってきた。この調査結果

とそれ以前から実施している英語検定級取得状況調査結果についても報告したい。また、本校が新入生に対して実施してきた教務アンケートの中より、英語に関する調査結果についても触れたい。なお、本文の表や資料の中で本校第1学年のクラスを示す際は、A・B・C・Dという標記をしている。

2 新入生テスト

2.1 BACE

2.1.1 BACEとは？

BACE(Basic Assessment of Communicative English)とは、NPOの英語運用能力評価協会(ELPA)が開発した「高1レベル・中学校既習事項運用能力テスト」のことで、2002年11月から2006年7月までに、全国32高専が採用している。主に中学生から高校の新1年生を対象として作られたテストのため、出題範囲は中学既習事項が中心と

なっている。BACE テストの問題は語彙・文法(V) : 16問、リスニング(L) : 12問、リーディング(R) : 12問の3つのパートから成り立っており、点数はそれぞれ100点ずつ、合計300点満点で計算される。試験時間は45分で、マークシート方式で解答する。また、採点方法は素点ではなく、IRT(項目応答理論)に基づき、絶対値スコアで算出される。そのため、毎回のテストのスケールが一定に保たれているため、何度受験しても同じ基準で自分の実力を試すことができる。^(注1)

2.1.2 本校成績

過去3年間の本校の成績を、年度ごとにまとめたものが表1である。

表1 BACE テストの本校成績

	V	R	L	Total
2006	61.6	54.9	60.5	177
2007	52.7	50.5	59.2	162.3
2008	56.7	51.1	54	161.8

V: 語彙・文法 R: リーディング L: リスニング

上記の表から分かるように、2006年度入学生総合スコアは、翌2年の入学生に比べ、約15点も高い。表2を見ると、他高専での総合スコアも同じ傾向にあるので、2006年度入学生の英語力が他年度に比べ高いと見るより、2006年度のBACEの問題が易しかったと見るほうが妥当であると思われる。

この3年間で共通しているのは、3つのパートの内、リーディングのスコアが一番低くなっていることである。また、クラス別に見てみると(資料1参照)、毎年1番スコアの高いクラスと低いクラスの差が約10~15点ある。100点満点に換算すると3~5点であるからそれほど大きい差ではないと思われる。この差は、後述する課題テストと比較してみたい。

2.1.3 他校との比較

表2は本校を含め全国の高専の1年生が受験したBACEの結果である。2006・7年度は約10校の高専が受験したと思われる。

表2 BACE テストの全国高専1年生の成績

	受験者数	V	R	L	Total
2006	1,744	64	60	61	186
2007	1,701	57	54	62	174
2008	1,387	56	55	58	169

V: 語彙・文法 R: リーディング L: リスニング

本校と同様、全国平均も若干だがリーディングのスコアが他のパートに比べ一番低くなっている。本校と比較すると、全国平均のほうが約7~12点高くなっているが、パート毎に見るとほとんど差のない年もある。2006年度のリスニングや2008年度語彙・文法がその例である。しかし、リーディングに関しては、3年間とも全国平均より低い結果が出ており、この辺りに今後の新入生の英語指導のポイントがあるようである。

2.2 課題テスト

2.2.1 テスト成績

本校入学が決まった新入生には、3月の登校日に春休みの課題として英語の問題集を課し、その内容の理解度を確認するために課題テストを実施している。過去3年間の各クラスの成績は表3の通りである。

表3 課題テストの本校クラス別成績

	A	B	C	D	学年
2006	81	83.2	85	78.6	82
2007	80.9	85	84.9	83	83
2008	76.6	80.2	83.3	78.1	80

3年間の学年平均点を比較してみると、さほど大きな差は見られない。しかし、同年度での平均点の最高クラスと最低クラスの差や同科での年度毎の平均点の差はかなり大きいところが見受けられる。

2.2.2 BACEテストとの比較

この課題テストとBACEテストは同日時に行われているため、学生の個人の実力発揮には大きな違いはないかもしれない。しかし、課題テストは試験範囲をあらかじめ知らされているため、試験勉強をすることができる。一方、BACEテストは中学校ですでに学んだ内容になっているが、試験内容が知らされていないため、実力試験の要領で学生たちは受験する。

2つのテストのクラス別の平均点を使って比較してみると(資料1及び表3参照)、2006年度はクラス毎の平均点の順位が一致している。一方2007年度は課題テストの平均点がほぼ同じ2クラスが、BACEテストのスコアでは5点以上の開きが出た。また、2008年度は課題テストのスコアが3位と4位のクラスが、BACEテストのスコアでは順位が入れ替わっているが、点数はさほど変わらない。このように、クラス別で比較すると、2つのテストのスコア間にはあまり大きな違いは見られない。

2.3 学力検査入学者と推薦入学者

現在本校は、4割程度の学生を推薦で入学させている。つまり、毎年4割程度の学生が、学力検査を受検せずに入学して来る。その点を考慮すると、4月の入学早々に実施される新入生テストは、入学者全体の英語の学力を知る上で大きな意味を持つ。表4は、BACEの成績を、学力検査を経た入学者と推薦入学者とに分けて出した平均点である。全体の平均点を見ると、どの年度も推薦入学者の平均点が学力検査入学者のそれを上回っている。2007年度は、全体的に見ても推薦入学者のほうがかなり平均点が高く、また、全ての学科において推薦入学者の平均点のほうが学力検査入学者のそれを上回っている。しかし、それ以外の年度では、クラスによって、学力検査入学者の平均点が推薦入学者のそれを上回った例が見られる。2006年度のB科とD科、2008年度のD科がその例である。

表4 学力試験入学者と推薦入学者のBACE平均

	2006年度		2007年度		2008年度	
	学力	推薦	学力	推薦	学力	推薦
A	168	180.7	151.8	173.3	153.3	163.3
B	175.2	174.1	161	166.3	162	172.2
C	183.3	191.6	163.8	172.8	164.3	174.6
D	175.1	166.2	158.4	161.7	158.3	151.1
全体	175.4	179.2	158.7	168.8	159.5	165.8

3 アンケート

3.1 学校のアンケート

以前より本校では、新入生を対象に教務指導部によるアンケート調査が実施されてきた。2007年度より、高専機構の求めるアンケートと一致させるため、質問内容が変更されたが、それ以前のアンケートでは、中学時代に好きだった科目と嫌いだった科目を聞く項目があった。資料2は、2005・6年度のアンケート結果である。両年度とも、「英語が嫌いだった」新入生が2割以上に達している。同じ2割に達している国語に比べると、「英語が好きだった」新入生も結構多い。教科の得手不得手と教科の好悪はかなり相関があると思われるので、英語は、成績の上下の差が大きいと言えるかもしれない。

3.2 英語科アンケート

3.2.1 英語検定取得者

英語科では、1年次にできるだけ英語検定3級を取得するよう指導してきているが、そのため毎年中

学校での取得状況を調査している。資料3は、この3年間の結果である。2006・7年度は、3級取得者が5割を超えていたが、2008年度になって5割を切ったのが気になりなところである。

3.2.2 音響機器調査

前述したように、1年次の「オーラル英語」の授業では、学生にCD付のWorkbookを購入させて、自宅や寮での復習に利用するよう指導している。そのため、新入生がどのような音響機器を利用できるか知っておく必要があり、「オーラル英語」の最初の授業の時に調査をしている。資料4はこの3年間をまとめたものである。CDに関しては、毎年同じ程度の数であるが、TAP Eは確実に3年間で減ってきている。とはいえMDが増えるということはないので、2008年度は、iPod等の音響機器についても調査した。表でわかるように、8割以上がCDを聞ける環境にあり、TAP EとMDは減少傾向にある。iPod等の音響機器はいまのところ3割を超える程度である。

4 おわりに

今回の調査でもわかるように、本校の新入生の英語の学力は、他高専と比べて高いとは言えない。また、英語が嫌いという学生も多い。その対策として、英語科はこれまで、古くは1年次の英語の習熟度別クラス編成の試み、最近では、音声中心の「オーラル英語」の科目導入や「英作文」での少人数教育等を実施してきた。また、今年度より、「英語嫌い」を減らすことを目標の一つとして、1年生の「英語」の時間に、多読の授業を取り入れた。これは、今回のBACEの調査でリーディング力が劣るという結果も得られ、実施の意を強くした。今後2年次・3年次と継続して行きたい。

アンケートについては、新入生に限られており、今後2年次以後の追跡調査等の必要性を感じた。また、質問項目等も色々と考えて、今後の学習指導に役立てたい。

注

1)ELPAのホームページを参照。

<http://www.english-assessment.org/products/test/bace/html>

資料1 BACE テストの本校成績

2006 年度

	V	R	L	Total
A	61.1	54	58.8	173.9
B	60.8	53.9	60	174.7
C	63.9	59.2	63.9	187
D	60.4	52.5	59.1	172
全体	61.6	54.9	60.5	177

2007 年度

	V	R	L	Total
A	50.4	50.4	58.9	159.6
B	54.6	49.3	59.1	163
C	54.7	53.8	60	168.5
D	50.9	48.5	58.8	158.2
全体	52.7	50.5	59.2	162.33

2008 年度

	V	R	L	Total
A	55	49.7	52.6	157.3
B	58	53.9	54.4	166.3
C	57.8	53.8	56.8	168.4
D	56.2	47	52.4	155.6
全体	56.7	51.1	54	161.8

V: 語彙・文法 R: リーディング L: リスニング

資料2 中学時代の教科の好悪 (本校教務アンケートより)

2005 年度

あなたが好きだった科目はどれですか。(2つまで選べる)(%)

	国語	社会	数学	理科	技家	保体	音楽	美術	英語
A	4	7	20	35	12	13	2	2	5
B	1	14	24	26	8	6	2	5	8
C	4	10	15	28	8	11	9	5	10
D	4	10	18	20	8	16	4	9	8
全体	3	10	19	27	9	12	4	5	8

あなたが嫌いだった科目はどれですか。(2つまで選べる)(%)

	国語	社会	数学	理科	技家	保体	音楽	美術	英語
A	25	18	7	1	2	5	15	5	19
B	27	10	7	0	2	5	10	11	17
C	16	16	10	1	3	11	6	11	19
D	21	14	9	3	4	5	9	6	30
全体	23	14	8	1	3	6	10	8	21

2006 年度

あなたが好きだった科目はどれですか。(2つまで選べる)(%)

	国語	社会	数学	理科	技家	保体	音楽	美術	英語
A	1	10	16	18	9	27	9	6	4
B	1	14	19	27	10	10	2	7	6
C	0	11	9	35	7	11	8	5	13
D	4	13	19	12	5	18	4	4	19
全体	2	12	16	23	8	17	7	6	11

あなたが嫌いだった科目はどれですか。(2つまで選べる)(%)

	国語	社会	数学	理科	技家	保体	音楽	美術	英語
A	21	13	11	5	2	5	9	11	22
B	26	9	6	1	3	9	8	5	28
C	17	15	12	0	4	12	9	5	16
D	30	8	11	4	1	5	8	7	20
全体	23	12	10	3	3	8	9	7	22

資料3 新入生英語検定取得状況

2006 年度

	人数	4級	3級	P2級
A	41	25	16	1
B	43	24	19	1
C	42	26	31	1
D	41	14	22	0
全体	169	89	89	3

2007 年度

	人数	4級	3級	P2級
A	42	22	17	0
B	43	24	23	1
C	44	20	26	1
D	41	22	23	1
全体	170	88	89	3

2008 年度

	人数	4級	3級	P2級
A	43	17	17	0
B	43	19	20	2
C	43	14	19	0
D	43	20	19	0
全体	172	70	75	2

資料4 利用できる音響機器調査

2006年度

	人数	CD	MD	TAPE
A	41	29	26	21
B	43	38	27	25
C	42	36	21	18
D	41	31	26	23
全体	169	135	102	87

2007年度

	人数	CD	MD	TAPE
A	42	39	25	20
B	43	31	19	14
C	44	33	27	20
D	41	32	22	16
全体	170	135	93	70

2008年度

	人数	CD	MD	TAPE	iPod 等
A	43	30	21	11	11
B	43	34	20	19	17
C	43	40	21	16	18
D	43	34	23	16	11
全体	172	138	85	62	57